

社会福祉法人 東陽会
りゅうきんか広報誌

ヨリソウカタチ

～特集～

福祉避難所として ～災害時避難を考える～

- ・日頃の生活のご様子
- ・特養 ・ショートステイ
- ・リハビリデイサービス
- ・出張握り寿司!いらっしやい!!
- ・第85回運営推進委員会議
- ・地域と共に!
- ・編集後記

vol.11

～Renewal～

りゅうきんか




福祉避難所

避難所



あさぎり町では福祉避難所について、「家族などの支援だけでは一般の指定避難所において安全を確保できない人（高齢者、障がい者など）のための避難所です。」とされて利用にあたり以下のような留意事項があります。

○ 福祉避難所への避難を希望される人は、身体状況に応じて受け入れ可能な町内の福祉施設などと町が調整します。まずは町に連絡をお願いします。

（※直接避難することはできません。）

○ 福祉避難所までの移動は、原則として家族などの介助者での対応となります。

○ 福祉避難所には家族（介助者）も一緒に避難し、支援（介助）をお願いします。

○ 一般の指定避難所での避難が可能な人は、最寄りの指定避難所へ避難ください。

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動
大 危険度 5	緊急安全確保 (町が発令)	命を守るため最善の行動をとる 〈既に災害が発生、あるいは切迫しています〉
警戒レベル4までに、危険な場所から必ず避難		
4	避難指示 (町が発令)	危険な場所から 全員避難 〈災害発生のおそれが高まっています〉
3	高齢者等避難 (町が発令)	危険な場所から 高齢者 障がい者 その支援者は避難 〈災害発生のおそれがあります〉
2	大雨・洪水注意報等 (気象庁が発令)	自らの避難行動を確認 〈気象状況が悪化しています〉
1	早期注意情報 (気象庁が発令)	災害への心構えを高める 〈今後、気象状況が悪化するおそれあり〉
小		

令和2年7月豪雨から5年が経過しました、球磨川水系を中心に広範囲に降った雨の影響で、人吉・球磨以外の多くの地域でも土砂災害に見舞われましたが、様々な課題があり復興道半ばであります。

昨今の災害を受け、あさぎり町においても災害に対する様々な取り組みが進められていますが、令和2年7月豪雨災害の被災以前より、町内の各施設と「福祉避難所協定」が締結されていました。

被災以降は、より具体的に、町内各所で行われています、災害対応訓練への参加協力も各施設で行われています。

あさぎり町内の「福祉避難所」協定締結事業所

「りゅうきんか」「東病院」

「あさぎりホーム」「鐘ヶ丘ホーム」

「翠光園」「JAくま」

「つつじヶ丘学園」「第2つつじヶ丘学」



共助

地域
地域の人たちが
力を合わせて
協力する。

自助

個人・家族
自分の身は、
自分で守る。



公助

国・県・市などの
行政機関
救助・援助など
公的支援をする。



災害はいつ何時起こるかわかりません、日頃からの備えとしてハザードマップや自宅周辺の避難所の確認、「非常備蓄品」、「非常持出品」の準備、事前の避難訓練などそなえておきましょう。



ひなんばしょ
避難場所



壱番街



弁当も美味しかよ



春の陽気を浴びに、近隣公園へ
久々に外の空気に触れ、
良い気分転換ができました



「書道クラブ」



やっぱ、
桜の季節はよかなあ



ホットケーキ作り

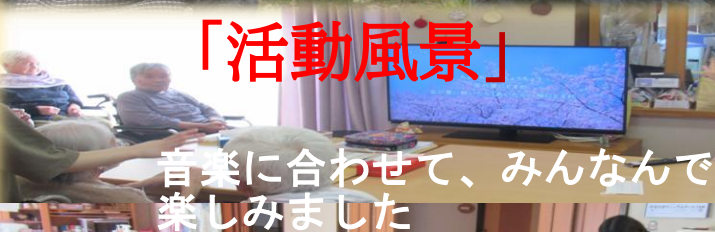


花見弁当

3/26 「花見・屋外食事会」



「活動風景」



音楽に合わせて、みんなんで歌を
楽しみました



貳番街



ホットケーキ作り

「新しくご入所いただきました
よろしくお願ひします」



参番街

活動風景

野菜の苗植え

苺の収穫

体操クラブ

ゴミ箱作り



野菜の苗植え
「茄子・トマト・胡瓜」

苺の収穫を楽しみました

伍番街

多良木町交流会館「石倉」
ひな人形の見学へ行きました

料理教室

リハビリデイ ～通所～



作業療法



りゅうきんかおすすめ！ にぎり寿司

皆様の前で握ります！！



第2回デモンストレーションは特養/ショートステイの皆様を対象に お寿司を目の前で握って頂きました。
当日は、お寿司(マグロ・サーモン・エビ・タイイクラ乗せ・玉子・稲荷) 小鉢(オクラのおかか和え) 汁(うどん汁) デザート(鯉のぼり和菓子) を提供しました。
ソフト食、ミキサー食の方にも具材を変えながら、お寿司やどんぶりにして提供しました。
普段小食の方も何度もおかわりされており、とても喜ばれていました。
なかなか生ものを提供するの難しいですが、時期をみながらまた提供できたらと思います。

第85回 運営推進会議が開催されました

〔開催日時〕 令和7年5月23日（金）14:00～14:40

〔参加者〕 【地域住民】・あさぎり町役場 ・区長 ・元社会教育委員
・築地地区民生委員 ・入所者家族
【施設職員】・介護支援専門員 ・生活相談員

〔内 容〕 ・サービス事業状況報告・R6年度事業報告・症例発表について
・活動状況映像視聴 ・質疑応答

●食事について

（地域）（食事風景の映像を見て）美味しそうに食べておられたが皆さん完食されるのか？

（施設）本人の体型や摂取状況で量を調整し提供しているため、体調不良等でない限り、ほとんどの方が完食されている。

●外出について

（地域）外出機会はどれくらいか？

（施設）気候の良い時期はよく散歩に。年に2～3回はドライブにお連れしている。町内に良いドライブスポットがないかと探しているので、教えて頂けると助かる。

●離設について

（地域）最近、他施設で離設があった。りゅうきんかではどのような対応をされているか？地域の方の協力があるか知りたい。

（施設）離設リスクのあるご利用者は、施設全体に周知している。マニュアルの作成や勉強会を実施している。

行方不明になられた際は地域の方にも本人の特徴や服装を伝え協力していただこうと考えている。

（施設）行方不明者の町内放送はどの時点でされるのか？

（役場）まずは施設や家族が搜索し、家族が警察に届けを出してから町内放送し、消防団の搜索も開始される。命にかかわるので早めの対応が求められる。行方不明は土日が多い。

※運営推進会議録を自由に閲覧できるよう、施設玄関に準備しております。お立ち寄りの際は是非ご覧ください。



地域と共に！

りゅうきんか
vol.11

りゅうきんか前 東免田駅周辺

地区の清掃作業に参加しました！

築地地区の清掃作業に参加しました。東免田駅周辺は築地地区の玄関口！！
地域の方との共同作業で
きれいになりましたよ😊

いつも美しく！

今の特集 福祉避難所 ～災害時避難を考える～

表紙：ご利用者さまと一緒に苗から育てたきゅうりです。家庭菜園から毎日愛情を注いで作り上げた野菜です！もちろん後は モグモグ頂きました～(^^)／

編集後記

第11号「ヨリソウカタチ」をご覧いただきまして、誠にありがとうございます。「ヨリソウカタチ」第11号を創刊させていただくこととなりました。今号では福祉避難所の在り方や利用の方法などを特集いたしました。いつ災害が起きるかわからない時代、私たちに出来ることは何なのか。それを改めて考え、そして高齢者の方々や地域の方々が安心して暮らせる街を共に作らなければならないことを再認識しました。緊急時に慌てないように、普段から備蓄や必需品を見直すなど、ご自身で出来る事や、施設でもより質を高めていかなければならないと感じた次第です。防災計画あるいはBCPと計画を立て努めてまいりたいと思います。今後共「りゅうきんか」をどうぞ宜しくお願い致します。

広報委員会（大森・中村・井上・椎葉・権頭）

次号の「特集」は 介護AXって

～これからの介護を考える～

- 地域密着型介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護（ショートステイ）
- 通所介護（リハビリデイサービス）
- 居宅介護支援事業所

発行元：社会福祉法人東陽会

発行責任者：権頭 重賢

編集：広報委員会

令和7年7月7日